

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動向をみると、公共投資は持ち直しているほか、設備投資は増加している。また、個人消費は、底堅く推移しており、住宅投資は増加している。

生産は緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は保合いとなっている。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・持ち直し

11月の公共工事請負金額は、市町村の発注は減少したものの、国、県等が増加したため、全体では4か月連続で前年を上回った（前年比+77.9%）。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2016年 1～3月	4～6	7～9	2016年 9月	10	11
山形県	▲44.6	+12.1	+8.0	+33.4	+4.3	p +77.9

<資料> 東日本建設業保証(株)等の「公共工事前払金保証統計」より作成
(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資・・・増加

10月の建築着工床面積（民間非居住用）は、卸・小売、運輸などは減少したものの、医療・福祉、教育・学習支援などが増加したため、全体では2か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比+2.0倍）。12月短観における2016年度の設備投資計画（全産業）は、非製造業を中心に下方修正された（前年度比+26.1%<前回調査比修正率▲7.2%>）。

(図表2) 建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2016年 1～3月	4～6	7～9	2016年 8月	9	10
山形県	+66.0	+86.8	▲8.5	+1.8	▲57.9	+2.0倍

<資料>国土交通省「建築物着工統計」より作成

(図表3) 県内企業の設備投資額（2016年12月山形短観） 前年度比、%

山形県	2014年度（実績）	2015年度（実績）	2016年度（計画）
全産業	+19.7	▲9.8	+26.1<▲7.2>
製造業	+37.0	▲22.3	+45.8<▲1.7>
非製造業	▲2.0	+12.1	+2.1<▲15.4>

<資料>日本銀行山形事務所

< > 内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・底堅く推移

10月の百貨店・スーパー販売（既存店ベース）は、飲食料品などが前年を上回ったことから、全体では5か月連続で前年の水準を上回った（前年比+4.0%）。

家電販売は、テレビ、生活家電などを中心に増加している。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2016年 1～3月	4～6	7～9	2016年 8月	9	10
全店	+1.6	+0.2	+1.9	+0.7	+0.8	+4.3
既存店	+1.2	+0.3	+1.9	+0.7	+0.9	+4.0

<資料>経済産業省

11月の乗用車の新車登録台数（含む軽乗用車）は、2か月連続で前年の水準を上回った（前年比+19.9%）。

(図表5) 乗用車新車登録台数 前年比、%

山形県	2016年 1～3月	4～6	7～9	2016年 9月	10	11
乗用車 (含む軽)	▲7.4	+1.2	+0.8	▲2.0	+1.1	p +19.9
乗用車 (除く軽)	▲3.5	+15.0	+3.6	+2.8	▲1.4	p +29.3

<資料>東北運輸局

(注)速報値（含む軽乗用車）には、乗用車以外の軽自動車も含む。

(4) 住宅投資・・・増加

10月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲の何れも増加したため、全体では3か月ぶりに前年の水準を上回った（前年比+56.4%）。地域別には、東根、酒田などは減少したものの、山形、鶴岡などは増加した。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2015年 10～12月末	2016年 1～3	4～6	2016年 8月	9	10
山形県	+12.6	+6.0	▲6.1	▲1.8	▲7.6	+56.4
持家	▲9.3	▲25.9	▲9.2	+4.3	▲6.7	+5.9
貸家	+25.6	+2.2倍	+34.1	▲12.3	▲8.1	+2.5倍
分譲	+72.0	+88.0	▲45.7	+7.1	▲11.8	+56.8

着工戸数の多い市：山形市+39.2%、鶴岡市3.3倍、米沢市3.0倍、天童市2.2倍、東根市▲2.4%

<資料>国土交通省「住宅着工統計」より作成

3. 生産・・・緩やかに持ち直し

9月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、2か月連続で上昇した（前月比+3.7%）。業種別には、電子部品・デバイス、情報通信機械など12業種は低下したものの、はん用・生産用・業務用機械、食料品など10業種は上昇した。

9月の在庫指数（季節調整済）は、3か月ぶりに低下した（前月比▲1.5%）。

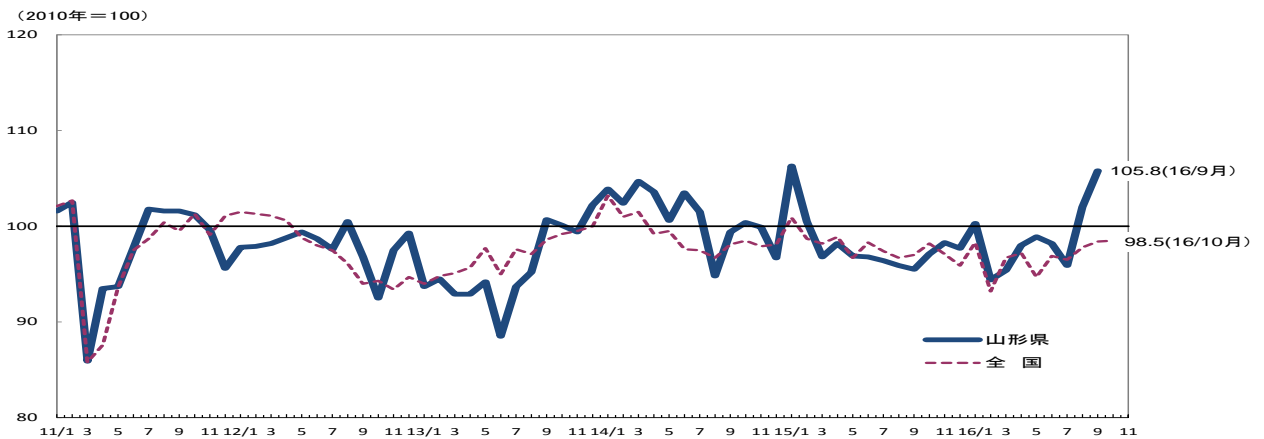
（図表7）鉱工業指数

2010年基準

山形県		2016年 1～3月	4～6	7～9	2016年 7月	8	9
生 産	季節調整済前月・期比%	▲1.0	+1.8	p +2.8	▲2.3	+6.4	p +3.7
	原指数前年比%	▲3.6	+0.7	p +5.4	▲2.5	+7.6	p +11.5
在 庫	季節調整済前月・期比%	▲0.3	▲4.0	p +2.7	+3.1	+1.9	p ▲1.5
	原指数前年比%	+3.2	▲0.8	p ▲0.9	▲1.2	+0.2	p ▲1.4

＜資料＞山形県企画振興部「山形県鉱工業指数」より作成

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



＜資料＞経済産業省「鉱工業指数」、山形県企画振興部「山形県鉱工業指数」より作成

4. 雇用・所得環境・・・改善

10月の有効求人倍率は、1.34倍となった。業種別には、サービス、卸・小売の新規求人は減少したものの、製造業、建設などは増加した。10月の雇用保険受給者は、6か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲4.6%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、<>内は前年比

山形県	2016年 1～3月	4～6	7～9	2016年 8月	9	10
有効求人倍率	1.24	1.33	1.29	1.29	1.30	1.34
有効求職者数	<▲3.1>	<▲6.0>	<▲6.2>	<▲7.3>	<▲6.2>	<▲5.5>
有効求人数	<+3.7>	<+1.0>	<+2.6>	<▲0.0>	<+2.6>	<+4.5>
完全失業率	3.0	2.8	2.2	—	—	—
雇用保険受給者	<▲2.3>	<▲5.6>	<▲6.6>	<▲2.6>	<▲6.6>	<▲4.6>

＜資料＞厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）有効求職者数、有効求人数、雇用保険受給者の四半期データは、各四半期末の水準。

9月の常用雇用指数は、概ね前年並みの水準となった（前年比+0.1%）。業種別には、生活関連サービス、建設などは前年の水準を下回ったものの、医療・福祉、運輸などは前年の水準を上回った。

9月の所定外労働時間は、3か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲3.7%）。業種別には、建設、学術研究等は前年の水準を上回ったものの、教育・学習支援、運輸などは前年の水準を下回った。

（図表 10）雇用関係指標（その 2） 2010 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2015年 10～12月末	2016年 1～3	4～6	2016年 7月	8	9
常用雇用指数	+1.9	+0.5	▲0.2	▲0.4	0.0	+0.1
所定外労働時間	▲3.5	+1.9	+3.9	▲1.0	▲5.0	▲3.7

〈資料〉山形県企画振興部

9月の現金給与総額（名目賃金指数）は、卸・小売、運輸などは減少したものの、サービス、建設などは増加したため、2か月連続で前年の水準を上回った（前年比+0.1%）。

9月のきまって支給する給与は、15か月連続で前年の水準を下回った（前年比▲1.5%）。

（図表 11）所得関係指標 2010 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2015年 10～12月末	2016年 1～3	4～6	2016年 7月	8	9
現金給与総額 （名目賃金指数）	▲5.5	+0.2	+0.7	▲0.9	+1.3	+0.1
きまって支給 する給与	▲3.3	▲0.4	▲1.6	▲1.4	▲1.1	▲1.5

〈資料〉山形県企画振興部

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

11月の企業倒産（負債総額 10 百万円以上）は、件数（2 件）、負債総額（1.1 億円）とも前年（4 件、5.4 億円）を下回った。

（図表 12）企業倒産 件、億円

山形県	2016年 1～3月	4～6	7～9	2016年 9月	10	11
件数	17	14	12	5	6	2
負債総額	27.4	26.6	22.7	16.9	3.6	1.1

〈資料〉(株)東京商工リサーチ山形支店「山形県企業倒産状況」より作成

6. 物価・・・保合い

10月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、低下した(前年比▲0.6%)。費目の内訳をみると、生鮮食品を除く食料、教育などは上昇したものの、光熱・水道、交通・通信などは下落した。

(図表 13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2015年 10～12月末	2016年 1～3	4～6	2016年 8月	9	10
総合	+0.2	▲0.5	▲0.6	▲0.6	▲0.6	▲0.2
生鮮食品を除く総合	+0.2	▲0.6	▲0.5	▲0.5	▲0.6	▲0.6

<資料>山形県企画振興部

(注) 2015年以前は2010年基準の前年比を掲載。

7. 金融

10月の県内預金(銀行+信用金庫)は、法人預金を中心に前年の水準を上回った(前年比+0.9%)。

10月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、個人向けが住宅ローンを中心に堅調に推移したほか、企業向けも増加したため、全体では前年の水準を上回った(前年比+3.1%)。

この間、10月の貸出金利は低下した(前月比▲0.004%ポイント)。

(図表 14) 預金、貸出、貸出約定平均金利

%, %ポイント

山形県	2016年 1～3月	4～6	7～9	2016年 8月	9	10
実質預金+CD (末残前年比)	+1.3	+1.2	+1.0	+0.9	+1.0	+0.9
貸出 (末残前年比)	+3.6	+3.6	+3.7	+3.3	+3.7	+3.1
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.028	▲0.038	▲0.020	▲0.006	▲0.009	▲0.004

10月末水準
1.108

<資料> 日本銀行山形事務所<対象等は(参考)山形県内主要金融経済指標注記<7頁>参照>

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
日本銀行山形事務所
TEL: 023-622-4004